

幹

おん
カン

〔5年〕

みき

13画



なりたち 本字は幹。旗を掲げる台の形を表した軼（旗竿）と木との会意形声字で、木の枝葉を支える「みき」を表した字。音が干と同じなので幹を幹と書くようになった。

柱・中心の意味にも用いられる。

幹事：①組織の事務を担当すること。また、その人。②幹部：組織の中心になる人。
幹部：組織の中心となる部分。
用例幹部職員 大事件。
幹事：忘年の幹事。
幹部：中心となつて、ある仕事をする人。主任。
用例幹事をする上での才能。
幹線：鉄道・道路・電話などで、主要な線。本線。
用例幹豊かな人。
幹線：線で、腕前。

幹

おん
カン

乾

かす
カス

11画



なりたち 草木の芽が上に伸びようとしている形を表した字。軼との形声字。上に上の「乾燥」（かわく）の意味で、「陽気」の意味、乾燥（かわく）の意味に用いられる。また、「天」の意味にも用いられる。

乾物：乾かして作った食べ物。
乾燥：①乾くこと。乾かすこと。
と。②潤いが無くてつまらない様子。
用例乾燥室
乾杯：杯の酒を飲みほすこと。
特に、祝い事などで参列者が杯を上げて挨拶（さうさつ）した後、酒を飲むこと。

11画

曹

おん
ソウ

いみとじゅく

▼裁判官。法律関係者。
法曹：法律関係の事務を行ふ人。
曹司：①昔の役人や女官の部屋。局（はう）。②部屋住み（まどり）していらない）の貴族や名門の子弟の敬称。普通の会意形声字で、「裁判官」を表す棘と、曰（いわ）（言う意味）を表した字。転じて、広く「役人」の意味。

▼役人。
曹司：①昔の役人や女官の部屋。局（はう）。②部屋住み（まどり）していらない）の貴族や名門の子弟の敬称。普通の会意形声字で、「裁判官」を表す棘と、曰（いわ）（言う意味）を表した字。転じて、広く「役人」の意味。

15画

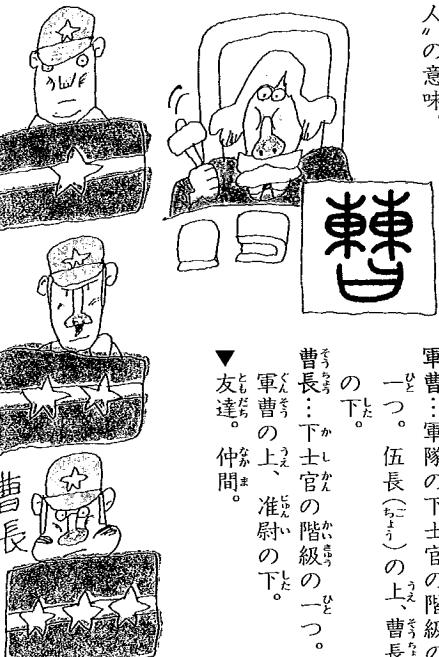
槽

おん
ソウ

いみとじゅく

▼桶（ひき）。
水槽：水をためて置く桶（ひき）。
浴槽：湯船。入浴するための桶（ひき）。

淨化槽：汚れた水をきれいにするための設備。



曹槽



幹

おん
カン

乾

かす
カス

11画

なりたち 草木の芽が上に伸びようとしている形を表した字。軼との形声字。上に上の「乾燥」（かわく）の意味で、「陽気」の意味、乾燥（かわく）の意味に用いられる。また、「天」の意味にも用いられる。

乾物：乾かして作った食べ物。
乾燥：①乾くこと。乾かすこと。
と。②潤いが無くてつまらない様子。
用例乾燥室
乾杯：杯の酒を飲みほすこと。
特に、祝い事などで参列者が杯を上げて挨拶（さうさつ）した後、酒を飲むこと。

乾杯：杯の酒を飲みほすこと。
特に、祝い事などで参列者が杯を上げて挨拶（さうさつ）した後、酒を飲むこと。